

華ちりめん伊と錦



Timebank

●車の中って結構なプライベート空間です



日頃から車を仕事で使っているわたし。御用聞きにお伺

いしたり、展示会のご案内にお客様をお尋ねしたり、納品でお届けをしたりと日常的に自動車を使用しています。

これをご覧になっていらっしゃるお客様も、車を運転される方が多いと思いますが、運転していると色々な事に遭遇しますよね。逆走してくる車や、追い越し車線からいきなり左折しようとする車、狭い道で譲ってくれない車など、心臓がドキッとしてハラハラしてしまふことなんかもありますよね。

今回のお話は、そんなハラハラドキドキではなくて、私の独断と偏見にはなりません。がちよっと微笑ましいと思ってしまうた、

私がいかに目撃した車のお話です。

ちよっと想像してほしいのですが、車って前も後ろも横も全部ガラスになっていて、外から見るとほぼ丸見えの状態です。ところが、かくいう私もそうなんです。車に乗って一旦ドアを閉じてしまうと、その空間は自分だけのプライベートなものに早変わり。いや外からは丸見えなんですけどね、実際には。好きな音楽を好きな音量でかけてもいいし、眠くなったら寝てもいいし、

(わたしは仕事は

さぼってないで

すよ) ラジオを

つけてもいいし、

エアコンも効いて

結構快適だし、

ハンズフリーなら電話だってできます。

ある日のこと、信号待ちをしていると、後ろから同じく信号待ちで減速してきた

車が隣の車線にきておりました。そして丁度真横に。別に意識した訳でも気になった訳でもないのですが、ふと隣の車の運転手を見ると、ちよっとタイミング的にめっちゃ

めっちゃ盛り上がる場面だったのでしよう、



目をつぶりも、の淒く情熱的に、手振りを加えて熱唱されている様子でした。手の動きが

とても印象的で、ガラス越しにもその情熱が伝わってくるくらい。ほんの数秒のことです。

その盛り上がりが、そこです！という時にパッとドライバーの方と目が合ってしまった

ました(汗)と、同時に凍てつく空気がお互いの車内に流れます。隣の車からすれば、こ

の上にあげた手をどうすればいいの？こちらからすると、見てはいけない瞬間を見てしま

ったような感覚。実は僕にも経験があるんですが(苦笑)この時って結構恥ずかしいんで

す。微妙な苦笑いで共に会釈して、信号が変わると同時に、フル加速して相手の方は

去って行ったのでした。それでも熱中できる瞬間がある、モチベーションが上がるも

のがあって良いなと思いつつも、思い出して楽しくなってしまう自分があるので

した。他にも当然何かはわかりませんが、一人で運転しながら笑い転げてる女性の方が

いて、その様子を見るだけでも元気が湧いてきそうだったり、何故かはわかりませ

んが、ボディビルダーのようなガッツ

ポーズを信号待ちで繰り返す年配の男



性がいたり、バックミラー越しに見えた、外は真冬で寒かったり、真夏の暑さで体にこたえそうなのに、その車内はバラ色なの？くらい楽しそうに会話している様子がわかる若いカップル、小さなお子さんと歌を歌っているんだらうなど、ニコニコしている親子など、車の中は人それぞれの物語が詰まっている様子です。それにしても車の中って結構なプライベート空間です。その人らしさが表れるところでもあります。でも実は外からは見えていしますので、私も含めて安全運転に努めましょう(笑)

最近うちの長女が自動車免許を取得したんですよ。自分の車を持てるようになったら、娘もこんな自分だけの物語を紡いでいくんだらうなと思いがら、色んな経験を積んで、その時々で夢中になれるもの、モチベーションが上がるもの、いろんなことに興味関心をもって、自分らしさを生かせるようになってもらいたいなと思っていますところですよ。



●お待たせしました。ジュエリー展です！

7月9日より伊と錦店内にて、デザイナーの中野哲哉さんをお迎えして「ジュエリーデザイン 魔法のときめき」を開催します。



ジュエリーとい

うと装飾品になり

ますよね。指輪だ

ったり、ペンダ

ントだったり。それは身を飾るものになります

が、それは何といってもお客様の個性や内に

秘める輝きをますます引き立たせるものです。

それこそモチベーションがあがるもの、気分

があがるもの、お守りのような存在であった

り、輝く貴石が美しいハーモニーとなって身

を包む感覚であったり、希少性が生む「大切

にしたいもの」であったり、「自分らしさの

証明」であったり、お客様の考えによって

その意味合いはそれぞれあります。

でも、もしこれを持つことで今日という日

がとてもいい日になったり、お友達からそれ



ジュエリーデザイナー
中野 哲哉

とても良いね、羨ましいと言われたり思われ
たり、自分に自信が持てたりしたら、とても
良いなと思いませんか？尚且つ、もしお持ち
の貴金属で例えば今ではもうほとんど身に着
けていないもの、派手すぎるものや自立し
ざるものなど、大切にしているけど使ってい
ないものが、新しいデザインとなって生ま
れ変わり、普段から楽しんで身に着けられる
ようになるとしたら、とても良くありませんか？

年に一回のジュエリー展になりますが、毎年
お客様には嬉しいお声を頂いているんですよ。

それは何でだろうと考えてみた時に思うことは、
お客様のお持ちのジュエリーをリメイクする場

合、その多くは一からデザインしたフルオーダ

ーになり、本当に世界で一つだけのジュエリー

になること、お客様からお預かりしたジュエリー

は、素材として利用されること。これが一番なの

かなと思いますが、「普段気軽に身に着られる」

ことなのかなと思います。その希少

性ゆえなかなか見ること叶わない

ピクエをお客様が目キラキラさせ

てご覧になっているのを見ると本当

にそう思います。ジュエリーとは時を

経ても変わらない美しさの象徴だそう

です。ぜひこの機会にどうぞご覧ください。

